

第五次安全対策基本計画

1 はじめに

調布市シルバー人材センター第五次中期計画に基づき、新たに第五次安全対策基本計画を策定する。

今後就業会員の増加に比例して、事故の発生件数を増やさない為にも、事故を未然に防止すると共に、再発防止のための事故原因を確認し、その対応策が必要である。

このことを踏まえ、会員の安全就業を目指し、平成33年度（2021年度）を目標達成年度とする。また、この計画の事項、基本計画及び実施計画は、別表のとおりである。

2 計画の名称、期間、目標

- (1) 名称 公益社団法人 調布市シルバー人材センター第五次安全対策基本計画
- (2) 期間 平成30年度（2018年度）から平成33年度（2021年度）までの4ヶ年間
- (3) 目標 平成33年度（2021年度）における年間事故件数を10件以下

平成30年（2018年）4月策定
公益社団法人調布市シルバー人材センター

<別表>

事項	基本計画	実施計画
1 安全管理体制の充実	(1)安全管理委員会、安全支援員、安全就業推進員の設置	◆安全管理委員会設置規程及び安全支援員及び安全就業推進員要綱に基づき設置
	(2)安全管理委員会等の開催	◆安全管理委員会を年6回開催 ◆安全支援員研修を年2回開催 ◆安全に関する実施計画の策定及び実施
	(3)連合及び他センターとの連携	◆連合及び第七ブロック等の開催する交流会、研修会、安全会議等への出席
	(4)緊急連絡体制の整備	◆緊急連絡体制の整備・活用及び周知の徹底

2 事故防止措置	(1)「安全就業基準」の徹底 (作業別安全就業基準)	◆会員の安全就業を確保するため、安全就業基準の周知及び遵守の徹底
	(2)転倒事故及び交通事故防止の指導徹底	◆自転車等の整備と交通ルールの厳守の徹底 ◆転倒事故防止対策の指導徹底
	(3)安全保護具の着用徹底	◆作業別安全就業基準に基づく、安全保護具の着用の徹底
	(4)作業用機械器具の点検・整備	◆作業用機械器具の安全点検及び整備の実施
	(5)事故原因の分析及び対策	◆類似事故の再発防止に役立てるための再発防止検討会及び研修の実施及び分析と対策
3 会員の健康管理	(1)看護師による健康相談の開催	◆新入会員の健康状態の把握と相談業務の実施
	(2)健康意識の向上	◆健康に関する情報の提供及び身体機能の維持・増進のための啓発
	(3)定期的な健康診断等の奨励	◆調布市で実施する各種健診等への受診・参加の奨励
4 安全教育の推進	(1)安全衛生講習会の開催	◆健康かつ安全に就業するための講習会を開催
	(2)機械器具の取扱講習会の参加	◆安全な使用方法を習得するための講習会を開催
5 安全意識の普及啓発	(1)安全意識の啓発	◆安全意識を高めるため広報誌等による啓発の実施 ◆安全就業強化月間（7月、12月）の実施
	(2)安全就業巡回指導	◆就業現場への安全点検の実施及び職群班ごとの現場の改善
	(3)安全標語等の募集	◆安全意識の喚起を図るため安全標語等の募集
	(4)安全就業グッズ、しおりの活用	◆安全就業グッズ、安全のしおり等の配付

過去10年間の状況と今後の目標

	年度	会員数	就業会員数	事故件数			備 考
				傷害	賠償	合計	
第三 次	平成20年度 (2008年度)	1,414人	1,256人	15件	5件	20件	● 傷害の年間平均 9.7件・賠償の年間平均 5.6件 ● 事故件数の年間平均 15.3件
	平成21年度 (2009年度)	1,507人	1,292人	10件	1件	11件	
	平成22年度 (2010年度)	1,523人	1,257人	15件	3件	18件	
	平成23年度 (2011年度)	1,530人	1,274人	9件	7件	16件	
	平成24年度 (2012年度)	1,466人	1,222人	10件	7件	17件	
第四 次	平成25年度 (2013年度)	1,470人	1,238人	6件	5件	11件	
	平成26年度 (2014年度)	1,500人	1,213人	5件	5件	10件	
	平成27年度 (2015年度)	1,512人	1,198人	7件	10件	17件	
	平成28年度 (2016年度)	1,557人	1,196人	11件	7件	18件	
	平成29年度 (2017年度)	1,585人	1,220人	9件	6件	15件	
第五 次	平成30年度 (2018年度)	1,562人	1,230人	8件	5件	13件	新たな計画の目標
	平成31年度 (2019年度)	1,572人	1,240人	8件	4件	12件	
	平成32年度 (2020年度)	1,582人	1,250人	7件	4件	11件	
	平成33年度 (2021年度)	1,592人	1,260人	7件	3件	10件	

※年間事故件数10件以下を目標にする。